



日本医療機能評価機構

第 8 号

藻岩嶺



題字：H.Sさん



中庭の歌碑

●日本医療機能評価機構(財団)の精神科病院Aの評価に合格した!



平松記念病院
院長 宗 代 次

2006年5月31日に認定証が来ました。

日本において病院を運営してゆくために必要な機能を第三者機関から審査を受けることです。

精神科医療、保健、福祉においても、技術の革新、時代のニーズは変化しています。病院は、時代の変化に対応して、患者様、ご家族の期待に応じるように努力をし続けなければなりません。そして地域に根ざした病院でもなければなりません。

この審査は、現在あるべき病院の最高の姿を認定されたものではありません。私達、職員一同は、いま、札幌市にある病院として、出発点に立っていると認識しております。

日々努力をして、時代の流れに遅れないように、医療、保健、福祉の活動をしてまいりたいと思っています。そして、患者様、ご家族のご意見を傾聴し、地域の人々のご期待に添えるように一步一步踏み出してゆく覚悟です。

そして、5年後の審査を受けるときには、これからの医療、保健、福祉にかかわる私達の営為が適切であることを再び認定されるように努力してゆきます。

平松記念病院

ききるの ネットワーク

こころのネットワーク第2回目は、さっぽろ駅前クリニックの横山先生に登場していただきます。横山先生には1ヶ月に2回程、当院の当直をしていただいています。先生は同時に札幌駅前クリニックを開業されており、集団精神療法(グループ・カウンセリング)などを精力的に行っていらっしゃいます。

病診連携 その2

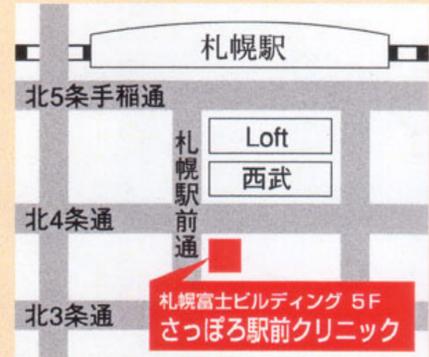
さっぽろ駅前クリニック

〒060-0003 札幌市中央区北3条西3丁目
札幌富士ビルディング5F(1Fに「みずほ銀行」)

ふわっと まるいこころ
TEL 011-280-0556



院長
横山 太範
(東京大学大学院修了、医学博士)



・診療科目 心療内科/精神科/精神科デイケア

・診療時間

	月	火	水	木	金	土
10:00~13:00	●	●	●	● 8:30~13:00	●	●
15:00~19:30	●	●	●	● 15:00~17:00	●	休診

●ある当直医の自己紹介●

さっぽろ駅前クリニックの横山といいます。



旭川医大を卒業して、東大病院やその関連病院で9年間研修した後、2年間、英国に留学し、2003年から北海道立精神保健福祉センターに勤務しておりましたが、2005年9月、札幌駅前にクリニックを開業しました。大学時代には卓球部と写真部に所属していました。昔から演劇が好きでしたが、東大大学院では即興劇を用いたサイコドラマという治療技法の研究をしました。留学中に、わんこそば大会があり3分間で77杯食べ優勝したことがあります。(現在もイギリスチャンピオンのはずです!)平松記念病院には旭川医大の先輩である武藤先生や、矢萩先生のご紹介で月に二回程度当直に来ています。食事がおいしいのと、医局の先生方やスタッフが皆さん親切なので、これからも続けて来たいなと思っています。

クリニックでの診療は、主にうつ病、うつ症状の患者様が中心で、パニック症状などを呈する不安障害の方と合わせて約8割になります。休職が必要となるような方も多数いらっしゃるの、そのような方々を対象とした復職をサポートするためのデイケアを、1月より開始しています。主に対人関係の悩みについてご本人がさまざまな気づきを得られるようなプログラムを用意しています。休職中の生活のリズムを整えるためにも役に立っているようです。

クリニックのもう一つの特徴は多彩なグループカウンセリングの実施です。うつ病、パニック障害の方を対象としたグループのほか、摂食障害・リストカット、コミュニケーショントレーニング、女性支援、家族支援、集団認知行動療法などをテーマとしたグループを行い、薬物療法だけでは不十分な部分をできる限り補うように工夫しています。

地域の皆さん、職員の皆さん、これからもどうぞよろしくお願い致します。



平松記念病院は 財団法人日本医療機能評価機構の 認定を取得しました!!

財団法人日本医療機能評価機構とは？

国民が適切で質の高い医療を安心して享受できることは、医療を受ける立場からは無論のこと、医療を提供する立場からも等しく望まれているところです。国民の医療に対する信頼を揺るぎないものとし、その質の一層の向上を図るために、病院を始めとする医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価し、その結果明らかとなった問題点の改善を支援する第三者機関として、財団法人日本医療機能評価機構は設立されました。 (「財団法人日本医療機能評価機構 設立の趣旨」より)



【認定証】

～医療機能評価に関して～

病院で提供している医療が一定水準を満たしているか否かを知るためには、また、医療の受け手である患者様一人ひとりのニーズを踏まえつつ、質の高い医療を効率的に提供していくためには、第三者による機能評価を積極的に導入し、絶えずその評価を受け止めていく必要があります。このような考えの下、当院でも2004年1月、医療機能評価による審査を受ける運びとなり、職員一同、これまで認定の取得を目指し総力を挙げて病院の改善に取り組んで参りました。その努力が実を結び、2006年5月29日、財団法人日本医療機能評価機構（精神科病院）の認定を受けることができました。職員一丸となつての必死の取り組みは、当院の置かれている現状を客観的に把握し、更には医療の質を向上させるために、多くの改善のきっかけを与えてくれました。また、より良い病院を目指そうとする職員の意識改革に大きな貢献を果たすなど、結果そのもの以上に、結果を受けるまでのプロセスに重大な意味があったと後から振り返ることができます。そこで、ここに3名の病院職員よりメッセージをいただきましたので、紹介したいと思います。



副院長
武藤 福保

手帳と資料を引っ張り出して調べてみると、最初に病院機能評価の受審準備に着手したのは平成16年1月31日でした。認定を受けたのが本年5月29日でしたので2年4カ月の歳月を費やしたことになります。かくも長い時間と多くの職員のエネルギーを注いだわけですが、振り返るとやはりそれは無駄ではなかったと感じられます。病院を取り巻く医療情勢はまさに激動の時代にさしかかっていると思われませんが、患者様達のためにも55年間培われてきた平松記念病院をますます前進させるべく、全職員で協力して参りたいと思います。



医事課長
中野 秀和

数年前から計画していた病院機能評価を昨年受審して、本年度認定を受けました。今後も地域に根ざした病院を目指して活躍していきます。



看護部長
小澤 時子

病院機能評価の認定を受ける為に、「病院の基準とは何か」を考えることで、自分が働いている職場の足りない部分を認識でき、また、改善の過程でスタッフ間の協調の素晴らしさを知ることができました。今後はこの水準が下がらないよう日々努力していきたいと思っています。

夏 祭 り & 盆 踊 り

8月9日(水)、今年も毎年恒例の夏祭り&盆踊り大会が開催されました。焼き鳥やフランクフルト・くじ引きなど、祭りの定番とも言える縁日の出店や「大声コンテスト」などのゲーム大会などが催されました。また、今年も特別ゲストとして、この界隈を代表する『こぶし太鼓』のメンバーの皆さんをお招きし迫力ある太鼓の演奏を披露してもらいました。盆踊りでは職員・患者様と一緒に踊り、改めて夏を感じさせるイベントを演出してくれました。



焼き鳥/焼き鳥は予想通り売れ行き抜群!



くじ引き/立派なくじ引きは全て手作り!



・こぶし太鼓/今年もすばらしい迫力でした☆



子供と太鼓/子供も聞き入っていました♪

<表紙の写真について>



平松記念病院
理事長 町田 荘一郎

「平松勤先生の歌碑建立」

平松記念病院の創立者である故平松勤先生の歌碑が、当院の芝生のある敷地内に、平成18年6月22日に建立されました。

生前の平松先生は、北海道の有数の歌人で三十年前には道新文化賞を受賞しています。

歌碑建立にあたり、3首の選歌は叶楯夫氏に、書体は小西龍馬氏に、碑石は坂井英樹氏に夫々お願いしました。当院お立ち寄りの折や近くにお出かけの折には、ぜひ御覧いただければ幸いです。

先代院長・故平松 勤先生の詩集の中から、最も優れた3詩を石彫りに残した歌碑です。先生の生前のお姿が偲ばれるような作品です。



理 念

適切な精神科医療・保健・福祉をめざし
次の二つの柱を基礎に据えます。

1. 精神障害者の医療および保護を行い、自立のために社会復帰および社会的経済活動への支援をします。
2. その障害の予防に取り組み、市民の精神保健の向上をめざし、地域に根ざした病院を目指します。

医療法人社団慈藻会 平松記念病院

編 集 後 記

札幌にもようやく暑い夏の季節が訪れました。今回の広報誌第8号は平松 勤先生の歌碑、病院医療機能評価機構認定、盆踊り・夏祭りと話題満載となりました。また、これから次号に向けて話題を探しに奔走するとともに、皆様により分かりやすい情報を提供していきたいと思い、広報委員一同がんばりたいと思います。



広報委員 重元



発行人 平松記念病院 広報委員会 発行日 2006年8月25日
〒064-8536 札幌市中央区南22条西14丁目
ホームページ: <http://www.hiramatu-mhp.or.jp>
E-mail: webmaster@hiramatu-mhp.or.jp
TEL: (011)561-0708 FAX: (011)552-5710